

<本文>

学校で学ぶことは、全て役に立つ。国語も、算数も、理科も、社会も。体育も、美術も、音楽も。例えば、国語は「コミュニケーション」という人間にとって最も根源的な営みについて学ぶ。算数は論理的な思考力を培う。理科は実験と観察の大切さを教えてくれるし、社会は私たちが日々生活している共同体の成り立ちや現状を知る大切な科目である。給食の献立だって、栄養のバランスから料理の仕方まで、全て勉強になる。でも、学校で学ぶ一番大きなことは、これらではない。もっと大切なのは、友達とのかかわり合いを通して、他の人々と一緒に生きるとはどういうことかを、身をもって体験するということだ。だからこそ、クラブ活動には積極的に参加すべきなのである。

<問い>

以下の5つのうち、本文の内容に最も近いものはどれか？本文中の根拠と主張に下線を引いた上で、選びましょう。

1. クラブ活動には積極的に参加すべきだということは、学校という言葉の意味を考えれば自明である。
2. 様々な科目からクラブ活動に至るまで、学校で学ぶことは全て役に立つ。
3. 学校は、クラブ活動などを通して人間関係を教えてくれるから、生きていく上で大いに役立つ。
4. 学校で学ぶ一番大切なことは他者とともに生きることであるから、クラブ活動にはどんどん参加すべきだ。
5. クラブ活動に積極的にでなければ、いい学校とはいえない。

<本文>

かつては中学1年で開始された英語教育は、今では小学校のプログラムにも導入されている。それと並行して、中学生以上が受けるのが主流であった英語検定試験を小学生が受験するのも、珍しいことではなくなったようだ。いわゆる「グローバル人材」を育成するという文部科学省の方針がその底流にあるのは明らかであろう。国際社会で日本が生き抜き、更なる発展を遂げるためには必要なことかもしれないが、国語教育はどこに行ったのだろうか。日本人である以上、日本文化の基盤である日本語、すなわち国語こそ、最も時間をかけて丁寧に、しかも低学年のうちから徹底的に学ぶべきである。

<問い>

以下の5つのうち、本文の内容に最も近いものはどれか？本文中の根拠と主張に下線を引いた上で、選びましょう。

1. 英語も大事だが、英語よりも日本語の方が大切だ。
2. 英語教育は日本の更なる発展のためには重要だから、英語に力を入れるのは当然だ。
3. 日本では最近では英語教育にますます力が入られているが、これは決して良い傾向ではない。
4. 日本人でなければ、日本語を徹底的に学ばなくてもよい。
5. 日本文化の基盤は日本語なのだから、英語教育よりも国語教育に力を入れるべきだ。

<本文>

日本のマンガには暴力的な場面が多く、アメリカなどの諸外国では規制の対象になる場合すらある。例えばテレビアニメにおいては暴力的な場面が強制的にカットされるのはよくある話で、オリジナルを知る日本人が観ると違和感を覚えたり、ひどい場合には筋が通らなくて思わず笑ってしまったりするほどである。しかし同時に、マンガが日本文化として世界各国で親しまれ、今や「manga」が世界の共通語となっているのも事実である。加えて、マンガの多くは、愛、友情、努力など、人として大切なことを物語形式で教えてくれる。だからこそ、私はマンガから暴力的な場面を削り、小さな子どもも安心して読めるものにしてほしいし、そうすればマンガの良さが一層光ると思うのだ。

<問い>

以下の5つのうち、本文の内容に最も近いものはどれか？本文中の根拠と主張に下線を引いた上で、選びましょう。

1. 暴力的な場面を削らなくては、マンガがせっかく持っている良さが半減する。
2. マンガにはいい点があるのだから、暴力的な場面を削ればもっとよくなる。
3. 日本のマンガには、暴力的な場面が多くて問題だ。
4. 暴力的な場面を削れば、小さな子どもも安心してマンガを読めるようになる。
5. 暴力的な場面は削るべきだが、マンガにはいい点も多々ある。

<本文>

数学力とは何だろうか。それは、計算力だろうか。それならば、そろばんが得意な子が必ずしも数学を得意科目としていないという事実はどう説明されるのだろうか。また、計算は、今や計算機やパソコンを使えばすぐにできる。つまり、計算がさほどうまくなくとも、これらの機械をうまく扱えば、計算は素早く正確にできるということだ。しかも、今日は携帯電話を誰もが持ち歩いており、これにも計算機能がついている。それではこれらの機械を使いこなせばあらゆる数学の問題がすらすらと解けるかという、そんなことは全くない。考えれば考えるほど、数学と計算は似ているように見えて、実はそうではないと感ぜられる。

<問い>

以下の5つのうち、本文の内容に最も近いものはどれか？本文中の根拠と主張に下線を引いた上で、選びましょう。

1. 今日重要なのは計算力よりも機械をうまく扱うスキルの方であるのだから、そちらを伸ばすべきだ。
2. 数学力とは何だろうかという問いには、答えが見つからないわけではない。
3. 数学力とはおそらく、計算力と同一ではない。そろばんが得意な子が必ずしも数学を得意科目としていないという事実があるからである。
4. 数学力とは何だろうか。それは、計算力だろうか。考えれば考えるほど難しい問題である。
5. 計算ができれば数学ができるというわけではない以上、数学力とは計算力と同一ではない何かであろう。